

1 水稻生育状況 中苗:ななつぼし

●生育状況調査

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	莖数 (本/㎡)	遅速 日数	備考 ※ ()は平年比
R3年	92.6	10.8	571	早7日	止葉期7/17 (早4日)
平年値	83.2	10.7	527		出穂期7/26 (早6日)
差	+9.4	+0.1	+44		出穂揃7/29 (早7日)

(1) 生育状況について

7月以降、気温が高く、日照時間も多ことから、生育は早まった。特に出穂始め～揃いの期間は平年より2日程度短縮されており、開花も順調です。

(2) 土壌水分の確保

開花後、登熟初期(開花～20日間)は、籾の中で子房が急速に大きくなるため、水分が必要となります。この時期の土壌水分不足は、品質や収量に影響しますので、ほ場にひび割れ(=断根)が発生しないように土壌水分を確保してください。

※常時滞水させる必要はありません。一時的に滞水、落水を繰り返してください。

(3) 病害虫発生状況

8/2時点で、いもち病の発生は確認されていませんが、ほ場をよく観察し、早期発見に努めて下さい。また、全道的にカメムシの捕殺頭数が増加しています。防除は計画どおり進めて下さい。

(4) 落水時期と落水後の水管理

落水の目安は「穂かがみ期(出穂25日後頃)」以降です。水田が乾燥する場合は走り水を行い、土壌水分を確保に務めて下さい。

2 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト	5月定植：3～4段目収穫 6月定植：1～2段目収穫。 ・灰色かび病、かいよう病、ハダニ、アザミウマ、ハモグリバエアブラムシが見られる。 ・尻腐れ果、日焼け果、軟果、すじ腐れ果、芯腐れ果が見られる。	・早めにかん水を行い、急激な蒸散によるしおれを防ぐ。 ・下葉や内側の葉の整理を行い、通気性を向上させる。 ・遮光資材などで高温による品質低下を防ぐ。
きゅうり	・定植作業は順調に進み、定植後の活着も良好。 ・アブラムシ類発生が見られる。	・日中の温度が高くなりやすいため、定植直後は乾燥に注意する。 ・活着後も生育に応じたかん水を行い水分不足に注意する。 ・アブラムシ等の発生に注意し、早期防除を行う。

作物名	生育状況	技術対策
ハウス軟白ねぎ	・4月定植収穫中。 ・タマネギバエ類、ハモグリバエ類、アザミウマ類、黒斑病、葉先枯れが見られる。	・ハウス内外の雑草除去、収穫残渣の処分を徹底する。 ・害虫は定期的に防除を行う。 ・かん水不足に注意する。
アスパラガス (ハウス立茎)	・夏芽収穫中。	・斑点病、灰色かび病の防除を行う。 ・ヨトウムシの防除を行う。
かぼちゃ	・1番果収穫始め。 ・黒斑病の発生が見られる。	・黒斑病、うどんこ病の防除を行う。

3 畑 作

○ばれいしょ

疫 病：罹病茎葉で作られた胞子が塊茎感染のもとになります。収穫時期を迎える生食用ばれいしょについては、茎葉処理まで塊茎腐敗に効果のある薬剤で防除を徹底し、塊茎腐敗の発生を防ぎましょう。また、収穫時期の遅い加工ばれいしょは、収穫まで防除を徹底しましょう。

軟腐病：高温多湿が続いていますので多発しやすい状況です。防除の徹底に心がけましょう。

○小 豆 本年の開花は例年より進んでおります。菌核病・灰色かび病は開花後に発生しやすくなり、開花始7～10日後が1回目の防除の目安になります。ほ場をよく観察しましょう。

病虫害名	防除時期
灰色かび病・菌核病	1回目：開花始7～10日後 2回目：1回目防除から7～10日後
アズキノメイガ	8月上旬～中旬

○大 豆 マメシンクイガの防除は若莢が着いたころ1回目の防除時期になります。

1回目：8月9日～12日ころ
2回目：1回目の散布から7～10日後

※連作畑や前年発生が多いほ場では要注意！

○小麦後作緑肥の導入

小麦収穫跡地の緑肥作物は、地力維持・土壤病害の発生軽減・土壤浸食防止など効果があります。生育確保のためできるだけ早くは種を行いましょう。

4 畜 産

○牧草生育状況（8月1日現在）

作物名	生育状況			遅速日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項目	R3年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	52.1cm	50.4cm	+2	生育は平年並みである

①2番草は、少雨のため生育が停滞していますが、1番草刈り取りからの日数経過を基本に刈り取りを進めましょう。追肥を行い3番草の利用も進めましょう。

②収穫したロールベールは、速やかにほ場から搬出しましょう。

③草地更新する場合、8月末までには播種できる段取りで進めましょう。

○サイレージ用とうもろこし生育状況（8月1日現在）

作物名	生育状況			生育期節	遅速日数	備 考
	項目	R3年	平 年			
サイレージ用とうもろこし	草丈 葉数	279.2cm 18.4枚	254.4cm 16.7枚	絹糸抽出期	+4	日照時間・気温が高く、生育は進んだ。